

教養演習 (英 1 a) 後期

Period: 木曜日 第3時限 (13:00-14:30)
 Lecture room: 1号館 403教室  オンラインへ変更
 Instructor: 宮下 治政 (Harumasa Miyashita)
 Postal address: 〒230-0063 神奈川県横浜市鶴見区鶴見2-1-3 鶴見大学6号館 英語英米文学科
 E-mail address: miyashita-h@tsurumi-u.ac.jp
 URL: <http://ccs.tsurumi-u.ac.jp/haru/data/index.htm>
 Office hours: 13:15-13:45 (Monday), 15:00-16:00 (Friday) & by appointment @ Room 119 in Building 6

Aim of the class: みなさん、これからの大学生活を満喫したいかな。もちろん答えは肯定的でしょう。大学生活を謳歌するためには、学校で勉学に真面目に取り組むことが不可欠です。勉学中心の生活を送ることによって、サークルやその他の課外活動が、心身のリフレッシュができる場となり、生活にメリハリができてきます。そんな楽しい大学生活をみなさんが送れるように、勉学面の手助けをするのがこの授業の役割です。この授業では、これから大学の授業を受講していく上で必要となってくるスキル・テクニック (の基礎) をみなさんに練習してもらい、身につけてもらいます。パソコンを利用しつつ、みなさんには特に以下の分野に取り組んでもらいます。

- [1] 授業でのノートの取り方
- [2] 授業でのプレゼンテーションの仕方
- [3] レポートの書き方
- [4] 図書館を活用した情報収集の仕方
- [5] アカデミックな日本語

初回の授業には50~80ページ程度のB5のノート1冊とUSBメモリを用意しておいて下さい。授業は講義・演習の両形式で進めていきます。授業にはサボらずちゃんと出席し、与えられた宿題・課題もちゃんとこなすこと。予習や宿題をせずに授業に出席するという行為は行わないで下さい。課題に対しては授業中にWeb上で解説およびフィードバックを行います。**後期の授業も基本的にオンラインで行います。授業に関する情報はmanabaで提供いたしますので、リマインド設定を再度確認しておいて下さい。遠隔授業はMicrosoft Teamsを用いて同時双方向型のライブ授業を実施いたしますので、Microsoft Teamsの動作状況も再度確認しておいて下さい。授業開始10分前から「会議」に入れるようにしておきますので、参加後にカメラとマイクをオフにして授業開始まで待機して下さい。後期初回(10月1日(木))授業は対面形式で行いますが、第2回(10月8日(木))以降は前期授業と同様に遠隔授業に戻ります。**私がみなさん(1年生)の担任となります。授業では厳しいですが、困ったこと・相談したいこと等があったら、大学で見かけたときに話しかけるか、オフィスアワーに6号館の個人研究室にいらっしやい。

Evaluation: レポート(20%)×2回+ノート提出×2回(20%)+小課題(2%)×5回+プレゼンテーション(10%)×1回
 =最終的な評価(100%)

🍏 SCHEDULE FOR THE SECOND SEMESTER 2020

		CLASS ACTIVITY	ASSIGNMENT
October	1	INTRODUCTION: メール添付による課題の提出 (対面授業)	Office 365 ログインの再確認
	8	日本語の練習【3】: 口語と文語/句読点・四字熟語・故事成語	-----
	15	レポートの書き方【3】: 図書館ガイダンス	日本語課題提出【3】
	22	コース制度ガイダンス	-----
November	29	レポートの書き方【4】: 情報の収集と引用の仕方	図書館所蔵の文献の検索
	5	プレゼンテーションの方法: 聞き取りやすい話し方/資料提示	参考文献リスト見本提出
	12	プレゼンテーションの準備	-----
December	19	プレゼンテーションの実践【1】	Microsoft PowerPoint スライド
	26	プレゼンテーションの実践【2】	Microsoft PowerPoint スライド
	3	プレゼンテーションの実践【3】	Microsoft PowerPoint スライド
	10	プレゼンテーションの実践【4】	Microsoft PowerPoint スライド
	17	プレゼンテーションの実践【5】	Microsoft PowerPoint スライド
January	24	プレゼンテーションの実践【6】(補講日)	Microsoft PowerPoint スライド
	31	NO CLASS: 冬季休業	
	7	プレゼンテーションの実践【7】	まとめ  ノート提出
	14	NO CLASS: 集中講義	
	21	NO CLASS: 集中講義	
	28	TERM PAPER DUE	

Textbook: 使用しません。(授業中にハンドアウトを配付します。)

- Reference books:
- (1) 『よくわかる学びの技法 [第2版]』(やわらかアカデミズム・<わかる>シリーズ)
田中共子 [著] ミネルヴァ書房 (2009) ¥2,200+税
 - (2) 『パソコン活用による日本語コミュニケーション実践ノート』
三村善美・牛島倫子・石井典子・岡田小夜子・今井克佳 [著] 風間書房 (2006) ¥1,500+税
 - (3) 『日本語を書くトレーニング』
野田尚史・森口稔 [著] ひつじ書房 (2003) ¥1,000+税
 - (4) 「20限目」『ドラゴン桜』第3巻 (モーニングKC948)
三田紀房 [著] 講談社 (2004) ¥514+税
 - (5) 『[最新版] 大学生のためのレポート・論文術』(講談社現代新書2498)
小笠原喜康 [著] 講談社 (2018) ¥800+税
 - (6) 『インターネット完全活用編 大学生のためのレポート・論文術』(講談社現代新書1677)
小笠原喜康 [著] 講談社 (2003) ¥680+税
 - (7) 『小論文入門テキスト』
小論文QQ舎 [編著] 学事出版 (2005) ¥1,200+税
 - (8) 『これから研究を書くひとのためのガイドブック—ライティングの挑戦15週間』
佐渡島紗織・吉野亜矢子 [著] ひつじ書房 (2008) ¥2,000+税